

2023年12月末現在
 組合員 4350人
 出資金 1億6890万円
 11～12月の動き
 組合員 新規加入33人
 脱退31人



第138号
 2024年1月10日発行
 (奇数月発行)
 〒503-0982 大垣市久徳町153-1
 TEL 0584-92-3268
 ホームページ seinou.coop
 編集 機関紙編集委員会

2024年 明けましておめでとうございます



本年もどうぞよろしくお願いいたします
西濃医療生活協同組合役員一同

- ・しずさと診療所
- ・しずさと訪問看護ステーション
- ・しずさとデイサービス
- ・しずさとショートステイ
- ・デイサービスひのき
- ・しずさと介護支援センター
- ・しずさと介護支援センター不破事業所

今年も元気に！

コロナ禍のもと、閉じこもりがちで人と人とのつながりがいかに大切かを実感した数年間でした。出合いを待ちわびていたこの一年は、医療生協の健康づくり班会が、最多の開催数・参加人数になりました。
 2024年も、つながりの輪を広げ、「健康で長生き」をめざしていきましょう。

11月27日、南宮山をめぐるしました。穏やかな秋晴れに、もみじの黄・オレンジ・赤がグラデーションとなって映えていました。
 南宮大社は美濃国一の宮。鉾山・金属業の総本宮とのこと。鉄器農具や鉄部品などが奉納されてきました。約千年前、平将門の首が京都から関東へ戻ろうと飛んだ際、南宮神社から矢を射ったところ、その首めがけて矢が通ったという矢道町、そしてその霊を鎮めるために創建された御首神社へとつながるといふ話が、案内ボランティアさんからありました。
 後半は朝倉山真禅院へ。境内からは垂井の町並みが一望でき、三重塔はもとより県下最古の梵鐘も風格がありました。
 気ごころの知れた方々と歩き、おしゃべりし、知識もいただいて、有意義な時間でした。

宇留生支部

お仲間とてくてく歴史散策

「2024みんな幸せ」

しずさとデイサービスの利用者さん制作



玄瞳

新年のご挨拶



理事長 木村隆之

西濃医療生協の組合員、職員、患者、利用者、そして地域住民の皆さま、新年を迎えるにあたり、益々のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

西濃医療生協は2001年6月3日創立、今年23年目を迎えます。すべての組合員や住民が「住み慣れた地域で最後まで自分らしく生きる」ことのできる地域社会と、それを可能にする医療福祉事業の創造という私たちの運動は、着実に前進してきました。組合員数は4300人を超えました。医療・介護事業は110数名の職員集団によって担われ、事業規模は年間7億6千万円を超えるまでになっています。西濃医療生協は、地域の保健・医療・介護、そして暮らしの拠点という役割を果たせるほかに発展してきました。

しかし、西濃医療生協を取り巻く社会状況は厳しさを増しています。岸田内閣が発足して2年以上

経りましたが、防衛費倍増（GDP比2%、5年間43兆円）、武器輸出拡大、敵基地攻撃能力など、軍事大国への動きが加速しています。歴史的な物価上昇やコロナ禍の

傷が残るもとで、異常な大規模金融緩和、国債（国の借金）と大企業支援の財政支出は拡大し続いています。この中で、社会保障の大幅削減に狙いが定められ、2024年度予算案でも、患者・利用者の負担増に加えて診療報酬の0.12%引き下げ（5回連続）、介護報酬の1.5%微増（実質減）が示されています。

こうした中で、私たちの事業活動も厳しさを増しています。昨年度は約マイナスイナス3500万円の赤字決算、今年度も継続の可能性は大です。「経営危機の入り口」と言うべき状況です。しかし、「組合員・患者・利用者が主人公」、「総合的プライマリケアの実践」という理念・目標を明確にし、20年以上の実績を糧に、すべての組合員と職員が協同組合らしく一致協力すれば、困難を克服する展望は必ず開けてきます。2024年を新たな挑戦の年にすべく、ともに頑張りますよ。



専務理事 中村英洋

皆さま、新年あけましておめでとうございます。西濃医療生協では、2023年、診療所北側に待望の組合員活動推進のための会議スペースを設置しました。20名ほどの会議や作業等に対応できるように、もうすでに各種委員会活動や支部の運営委員会などで活用が始まっています。

2023年5月に新型コロナウイルス感染症が5類へと変更され、社会生活も大きく変化しました。しかし西濃医療生協の医療・介護現場では受診・利用される方々への感染拡大を防止するために従来通りの対応を継続しています。同時に、診療所では発熱時の外来対応手順の改善、介護事業所でも見守りボランティアの受入再開など対応を進めております。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますがご理解とご協力をお願いいたします。組合員活動においては、班会活動が積極的に取り組まれた一年となりました。さまざまな支部活動

班会で新たなつながりや取り組みが大きく広がり、コロナ禍によって絶たれた人と人とのつながりの大切さとありがたさを実感した一年となりました。

さて、いよいよ2024年には6年に一度の医療・介護報酬の同時改定が実施されます。65歳以上の人口割合が最大となる2040年に向けて、医療・介護をどのように進めていくのか、その足がかりとなる一年となります。西濃医療生協においても、中長期的な事業経営計画を立案し、組合員、地域の方々にとって「医療生協があつて良かった」と思っていただけ医療・介護事業を継続・発展させていかねばと考えております。

本年もどうぞよろしくお願いたします。



各務原市における

P F A S 問題

岐阜民医連130人の血液検査実施

専務理事 中村英洋

2023年7月、各務原市は市民に供給する水道水の水源から国の暫定目標値を超えるP F A S (有機フッ素化合物) が検出されたことを公表しました。調査は2020年11月から開始されており約3年の間、市は公表を行いませんでした。

この問題を受け、同水源を利用し生活する地域住民が市に対し、血液検査や健康への影響調査の実施などをもとめ取り組みを開始しました。

西濃医療生協や岐阜勤労者医療協会(みどり病院等)が加盟する岐阜県民主医療機関連合会(岐阜民医連)では、この問題を、長年取り組んできていた公害問題や労働災害問題と同様の課題と位置づけ、社会的使命として岐阜民医連全体で取り組みを支援することを決定しました。10月

には地域住民の血液検査の実施やメディア対応、市や国への要望書提出への支援を開始し、西濃医療生協でも看護師を派遣し血液検査を支援しました。

先日血液検査の結果が公表され、各務原市の三井水源地域においては他の水源地域や国内のその他地域(沖縄や東京多摩地域)よりも高い血中濃度で、水道水が長期にわたって高濃度で汚染されていた可能性があることが明らかになりました。この

■ P F A S とは

1940年以降に開発された有機フッ素化合物の総称で熱や薬品に強く加工が容易なため様々な製品に使用されています。主な製品としてはフライパン等のフッ素加工、食品の包装紙、衣類等の防水処理加工、化粧品、電化製品のコーティング等生活用品に多岐にわたり使用されています。工業分野でも大量に使用されており、泡消火剤、半導体製造、メッキ加工、研磨剤等に利用されています。その特性から自然環境下で分解されにくく蓄積しやすいため「永遠の化学物質」と呼ばれ、長く環境中に残り、地下水や河川水から取水した水道水を通じて、ヒトの体内に取り込まれ、様々な健康影響(脂質異常症・幼児および胎児の成長の低下・腎臓がんリスクの増加等)があることがわかってきました。世界的にも欧州、米国を中心に使用や輸出入に対する規制の強化が進められています。

■ P F A S 問題とは

P F A S による土壌や水源の汚染問題については世界的にも調査が進められ、世界的規模で被害が拡大しています。国内では沖縄や東京都の多摩地区などで先行して調査が進められ、その他地域でも続々と汚染が確認されてきていますが、健康への影響については不明な点が多くさらなる調査研究が必要とされています。

汚染の原因は、主に上記にあるような様々な製品を加工生産する工場からの排出や、米軍・自衛隊基地等で使用される泡消火剤によるものとされ、各務原市で言えば自衛隊基地での消火訓練に長期間、大量に使用された泡消火剤の成分が土壌に浸透し、水源を汚染したと推測されています。現在の国の暫定目標値では水道水中の基準で50ng/L(米国では4ng/Lに改定予定)とされていますが、各務原市の汚染された水源では常時国の基準値を超え、2倍以上となる110ng/Lを記録した時期もありました。

結果を受け、岐阜民医連は地域住民とともに、希望する住民への検査実施体制の整備や相談窓口の設置、健康影響を明らかにするための疫学的調査研究の推進、汚染源の特定などを市や国へ要望するなど支援を強化・継続しています。来年からは市や国の対応に先行して、みどり病院、華陽診療所においてP F A S 健康相談外来を設置し対応を進めることも決定しました。西濃医療生協としてもできる限りの支援を続けていきたいと思います。

血液検査にはしずさと診療所看護師も協力(中日新聞10月22日)



赤坂支部
健康サロン

11月16日、旧早野邸セミナーハウスで健康サロンを13人の参加で開きました。講師に医療生協元職員でケアマネージャーの太田美華さんを招いて「いつまでも、住みなれた地域で、暮らせるために」のテーマでお話をいただきました。

現在の仕事（障害者の支援相談員）の経験を含め、高齢者の生き方や生活、運動などと共に介護保険の使い方や学びました。介護保険は住みなれた地域で、いつまでも元気で安心して暮らせるための制度で、保険料を納め、費用の一部を負担することで介護サービスを利用できること。地域包括支援センターや介護サービスを提供する事業者に相談して認定を受け利用する。利用の手順として、①相談し、②要介護や要支援の認定を受け、③それに基づきサービスを受けるなど、説明を受けました。

ケアマネの変更や認定の更新、ケアプランに基づいて利用する施設の内容等の質問が出され、答えていただきました。その中で決めておきたいことを事前に話し合い、伝えておく重要性について話されました。



太田さんの明るく元気な声と楽しい笑顔でのお話に参加された皆さんは感動し、有意義で元気をもらっサロンになりました。講師の太田さん、ありがとうございました。

紅葉ハイキング

赤坂支部恒例の秋の紅葉ハイキングを11月23日祝日に金生山、明星輪寺の境内で実施しました。

天気にも恵まれ金生山の急坂を登りながら境内に入り、紅葉を眺め真黄に色づいたイチヨウの大木に感動して秋の紅葉ハイキングを満喫しました。

散策の後、東屋で持参の弁当に舌鼓。お菓子を分け合いながら歓談。楽しいひと時を過ごしました。

他支部からも参加していただき、9人で有意義なハイキングになりました。

宇津時雄

不破支部

表佐史跡めぐりウォーキング

11月24日、藤墳憲二さんの案内で、垂井町表佐地区まちづくりセンターから参加者21名が出発。最初に行った地蔵院は村の東にあり、西にある地蔵とともに災いが侵入するのを防ぐ役割だったとのこと。次に表佐出身の刀匠松井永貞氏の墓を訪れ、刀匠が在住されていたことを知った。

勝宮古墳、他2か所の古墳や、相川、山田川の伏流水が湧き出る場所が数か所ある。部落の中を中川が流れ、ハリヨ（トゲウオ）と呼ばれる背や腹にトゲがある小さな魚と蛸もいて、6月中旬には「ほたる祭り」が開催されるそう

だ。表佐には祖先同胞碑、殉国碑などが連合自治会によって管理され、守られている。



在原業平伝説の薬師寺、谷崎潤一郎氏が滞在して『細雪』を執筆した飯沼家。その小説に登場する別棟の「爛柯亭」もあったとのこと。

表佐出身の大関鏡岩（当時最高位）の墓、「千句の里」を巡り、色々なことを学びながらウォーキングを兼ねて史跡巡りを楽しみました。

藤墳和宏

2024年の健康まつり開催にむけて
健康まつり実行委員を募集します

昨年は、健康まつりを4年ぶりに開催。20回目となった健康まつりは、通常の舞台あり、屋台ありとは打って変わり、健康づくり班会体験やしずさと診療所の柄澤所長の講演を主とするものでした。

今年の健康まつりはどんな内容

で開催しようか、企画は組合員自身で決めていきます。あなたもぜひ実行委員会に参加して楽しい企画にしていきたいませんか。

組合員活動部・松岡までご連絡をお待ちしています。
電話 0584 92 3268

しずさと診療所 今年もよろしくお願ひ致します

新年のご挨拶



所長 柄澤正人

明けましておめでとございます。昨年は常勤の医師の退職もあり、師の退職もあり、診療体制の維持が愁眉の課題でしたが、新たな非常勤の医師に来ていただき更に今までの非常勤の先生方に単位を増やしてもらったりして、今までの診療体制が確保できました。ご心配をかけたりましたが、落ち着きました。

また。まだまだ収束を見せない状態であり、国民の健康を守り抜く上で必要な措置は継続していくことが求められます。

世界では、戦争がやみません。人間の命がこれほどまでに軽く扱われて良いのでしょうか。心が痛みます。医療生協は、命と健康、暮らしを守る組織です。命を軽視する戦争は対極の愚行です。戦争反対の声を大きくしましょう。今年もよろしくお願ひします。



事務長 水野明典

明けましておめでとございます。昨年も1年間しずさと診療所の医療活動にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。昨年から医師体制の変更では、みなさまに診療日や時間、主治医の変更などご不便をおかけいたしました。

さて、昨年9月より塩澤孝之医師が毎週月曜日の午前診療、訪問診療、夜診療担当として私たちの仲間に加わっていただきました。内科、外科、整形外科分野と疾患全般を診ていただいています。どうぞ、よろしくお願ひ致します。

さて現在、新型コロナとインフルエンザが同時流行しています。コロナは5類に移行されましたが医療機関にとっては5類移行前と変わらない対応が必要です。しずさと診療所も「発熱外来」を拡大して対応しています。場所と時間帯の問題は今でもあります。一般診療の中でも、夜診でも発熱患者さんにできるだけ対応するようにしています。それだけスタッフの負担は倍化していますが皆さんのご要望に少しでも応えようと思っています。

5類移行でこれらの労苦に対しての政府の財政支援はなくなりました。また患者さんの医療費負担も発生し

しずさと診療所 診療案内 内科・外科・整形外科・リハビリテーション科

| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|--------|------|----------|----|----------|----|----|----|
| 8~9時 | 検査 | 柄澤 | 柄澤 | - | 柄澤 | 柄澤 | - |
| 9-12時 | 第一診 | 柄澤 | 柄澤 | 柄澤 | 柄澤 | 阿川 | ※2 |
| | 第二診 | 塩澤 | 阿川 | 粕谷 | 岡野 | 粕谷 | - |
| | 第三診 | 粕谷 | - | - | - | ※1 | - |
| 14-17時 | 訪問診療 | 柄澤 塩澤 | 柄澤 | 柄澤 粕谷 | 柄澤 | 柄澤 | |
| 17-19時 | 第一診 | 塩澤 | | 泉 | | 柄澤 | |

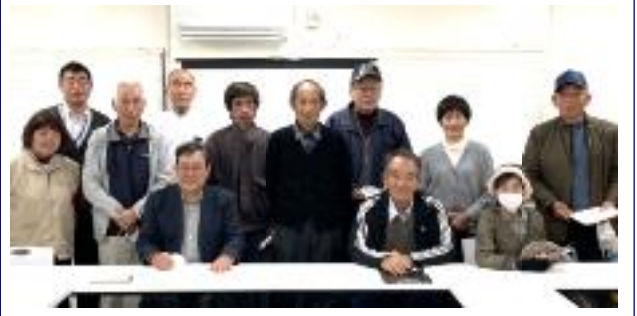
- ※1 金曜日の第3診察室
柄澤医師が検査(胃カメラ・エコー)を行います。
- ※2 土曜日の診察
第1・5は柄澤医師が担当します。
第2・4は泉医師が担当します。
第3は松井医師が担当します。

エコー検査・栄養指導のご案内
検査技師による心・頸動脈エコー(第3・第4火曜)
管理栄養士による栄養指導(第2火曜・第4金曜)
※診察時にご相談ください。

しずさと診療所送迎委員会

西濃医療生協では、組合員同士のたすけあいの精神で、開設当初から通院困難な患者さんに無料送迎を行っています。

送迎委員(運転手)の声を紹介します。
患者さんの「ありがとう。助かるわ」の声に支えられて、ドライバー全員、責任と誇りをもって送迎させていただいております。後継者問題もありますが、若いドライバー、女性ドライバーの加入もあり、この素晴らしい送迎制度を維持し、患者さんが受診できるよう頑張っていきたいと思います。



しずさと診療所の紹介

診療所の特徴

- ◎当診療所では内科、外科、整形外科、リハビリテーション科を中心とした一般診療を行っています。日常的に起こる病気やけがに対し、備え付けの機器や外注による血液検査などにより診断、治療を行い、必要があると判断した場合には専門の医療機関へ紹介をいたします。
- ◎糖尿病、高血圧、脂質異常症など慢性疾患の患者さんは定期的に通院していただき病状のチェックもします。
- ◎リハビリテーションでは、疾患に応じた外来リハビリと訪問・通所リハビリを行っています。
- ◎セカンドオピニオンとして、他の医療機関での意見を希望される方には情報提供書（紹介状）と資料をお渡しします。また、他の医療機関で治療を受けている方のご相談にも応じています。

在宅医療

- ◎訪問診療 日時を決めて定期的に医師がご自宅へ診療にお伺いします。訪問看護ステーションなど他の業種とも連携し、24時間対応で在宅を支えます。

保健予防

- ◎健康診断：人間ドック（要予約） ・組合員健診（要予約） ・糖尿病健診
・骨密度健診 ・前立腺癌検診 ・大腸癌検診 ・その他
- ◎予防接種：インフルエンザと肺炎球菌、新型コロナの予防接種を実施しています。インフルエンザ予防接種は高齢者助成による接種を受けられます。
※コロナワクチンの無料接種は2024年3月31日までです。

主な検査診療機器

- ・一般撮影用レントゲン ・胃内視鏡（胃カメラ） ・骨密度測定器
- ・超音波（エコー）検査（腹部・心臓・頸動脈） ・心電図 ・血管年齢測定器
- ・リハビリ機器（頸部腰部牽引器 マイクロ波治療器 干渉型電流低周波治療器）
- ・電子スパイロメーター ・加速度脈波計

西濃医療生協・医療介護事業所

<医療・介護のお問い合わせは>

▼しずさと診療所

診療 電話 0584-93-1170 FAX 0584-93-1169
リハビリ 電話 0584-93-1179 FAX 0584-93-1169
〒503-0982 大垣市久徳町153-1

▼デイサービスひのき

電話 0584-93-0310 FAX 0584-93-0311
〒503-0981 大垣市桜町706

今年もよろしくお願い致します

▼介護センターしずさと

電話 0584-91-3912 FAX 0584-93-1151
〒503-0981 大垣市桜町1452
・介護支援センター 0584-93-1171
・デイサービスセンター 0584-93-1172
・訪問看護ステーション 0584-93-1173
・ショートステイ 0584-93-1175

▼しずさと介護支援センター不破事業所

電話 0584-71-7311
〒503-2100 不破郡垂井町地蔵1-105

西濃南部支部

3年ぶりの芋煮会

久しぶりに多くの方と食事ができ楽しく過ごせました

いやあ、コロナ禍で中止になっていた西濃南部支部の芋煮会。ようやく開催できました。今回の参加者は、12名。上石津町の組合員さんのはなれ「だんらん」をお借りしました。

なんととっても、12月とは思えないような穏やかな日手で、気分は上々。



とにかく、楽しい芋煮会でした。以下、参加者の声の一部です。

「今日は、ありがとうございまして。久しぶりに多くの方と食事ができました。賑やかな芋煮会でした」「皆様お疲れ様でした♪。今日一日楽しく過ごすことができました良かったです。ありがとうございます」「買い物担当を初めて、やらせて頂きました。美味しい芋煮とおにぎり、ピカイチは、会員さんが釣ったコウライモロコの甘露煮、美味しくて全部ペロリとたいらげました。椎茸焼き、さつまいもの焼き芋、最高！話にも花が咲き、腹いっぱい！」「普段聞けない、懐かしい思い出話、楽しかったです。今の子には？なこともツアーで。昭和の頃の、のどかな光景が蘇りました」などなど。

お世話いただいた皆様、ありがとうございました。どなたでも参加できますので、来年は、皆さんも是非、参加してくださいね。楽しみにしています。

近藤

大垣南支部

おしえて！介護のこと

12月14日江東地区センターにて、しずさと介護支援センターケアマネジャーの鴨伸典さんを講師にお招きし



て介護のこと、介護保険のことに話を聞いていただきました。また。

今回が講師デビューとのことでしたが、わかりやすいお話に「なるほど」「そういうことね」納得することがたくさんありました。

当日参加された組合員さんから「ヘルパーさんをお願いしたいことはなかなかやっていただけない。私の困っていることは『できない』と言われてしまう。とても歯痒い」と声を出されました。「そんな声に耳を傾けて欲しいね」と願う声も出ました。

困りごととは人それぞれ、その方の暮らしの中で助けて欲しいことが介護保険の対象にならないなんて、誰のためにあるものなのか考えさせられました。

黒田晶子

大垣北支部

スクエアステップとエンディングノートの書き方講座

11月15日、「今日も元氣だ」班のスクエアステップにあわせて、「エンディングノート書き方講座」を中川地区センターを会場に開催。24人が参加しました。



11月15日、「今日も元氣だ」班は、毎月定例でスクエアステップを行っています。7人の参加から出発し、現在20人に広がっています。あなたも参加しませんか。

スクエアステップで楽し

吉田

西濃医療生協役員研修会

平和をテーマに、医療生協

ができることについて討議

12月23日、宇留生地区センターにて役員研修会を開催しました。

医療生協の「健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる。」という理念の実践から、今回は「平和をつくる」をテーマに研修会を行いました。



ていることに警鐘をならし、平和の国づくりへの希望をもって医療生協の活動を広めていくことを呼びかけました。

平和活動の発表は、不破支部が昨年10月に企画し、13人が参加した「沖繩平和ツアー」の報告でした。藤壇憲二さんから、普天間基地、嘉手納基地、強行される辺野古基地周辺のありのままの様子をお話しいただきました。また、伊藤支部長から「他の支部でも第2、第3の沖繩ツアーを計画してほしい」と呼びかけがありました。

次に、12月に放映されたNHKスペシャル「自衛隊変貌の先」に専守防衛は今「」を観ました。

その後、4つのグループに分かれ、在日米軍や自衛隊の基地・関連施設を白地図に書き入れながら、平和を守るために、医療生協として何ができるのかを討議しました。

〈出された意見や感想〉
○2022年12月、「安全保障関連3文書」が閣議決



定されて以降、自衛隊が変貌している姿が良く理解できた。

○「抑止力」では平和を守れない。戦争ではなく平和のための準備が必要。

○これまでも「憲法カフェ」を開催してきたが、平和について語り合う場を数多く企画している。

○防衛費増強の一方で、社会保障費の削減が進められている。社会保障拡充の運動を強めていこう。

○社保・平和の担当者を配置することからはじめよう。

これらの意見・感想をふまえ、これからの西濃医療生協の活動を深める研修会になりました。

松岡和彦

西濃医療生協で、一緒に働く仲間をご紹介しますませんか？

- ◎医師 在宅医療に関心のある方
- ◎常勤薬剤師 夜診療勤務ができる方
- ◎常勤訪問看護師
- ◎非常勤介護福祉士

詳細は西濃医療生協 中村まで
電話 0584 92 3268

新入職員紹介

しずさとデイサービス

介護福祉士 伊藤恵美



12月より入職しました。デイサービスでの勤務は初めてなので、早く仕事に慣れ、利用者様とご家族様に満足していただけるサービスができるようになりたいと思っています。

よろしくお願ひします。

西濃母親大会開催

「戦争はいや！今私たちにできることは？」というテーマで第50回西濃母親大会を11月12日大垣市情報工房で開催しました。参加者は200人。

講師の詩人、アサー・ビナードさんの広島原爆の犠牲の遺品探しの話。第五福竜丸の話、日本語の話に、参加者は「どんどん忘れられていく歴史的真実をしっかり子どもたちに伝えていきたい」と熱く語っていました。

西濃母親大会連絡会 奥田和子



全岐阜県生活協同組合連合会
**岸田首相に即時停戦と人道支援への
 積極的働きかけを要請**

パレスチナでの即時停戦と人道支援にむけた
 積極的な働きかけを強く要請します

パレスチナ自治区ガザ地区をめぐる戦闘が激化し、子どもをはじめとした多くの民間人が犠牲になっています。特に、連日にわたる空爆と地上攻撃により、ガザの犠牲者は増加の一途を辿っています。支援物資も届かない深刻な事態が続いているとともに、イスラエルはガザ地区中心部や病院、学校等への攻撃を進めておりさらに多数の死傷者や行方不明者が出る可能性が高まっています。

この悲惨な事態を止めるには、直ちに双方が停戦を実現することが必要です。国際人道法上、民間人を巻き込む無差別攻撃は禁止されており人質を取ることも認められていません。理由に如何を問わず、子どもたちをはじめとした民間人の被害を発生させないために、戦闘の即時停戦が必要です。

私たち岐阜県的生活協同組合は、誰もが安心して暮らし続けられる社会を実現するために、平和を願う多くの人々とともに、一人ひとりの声と行動を集め取り組みを続けています。武力による解決はありえないことは過去の歴史からも明らかであり、今回の武力衝突がその轍を踏もうとしていることを深く憂慮します。

日本政府は、あらゆる外交手段を通じて当事国、関係各国、国連などが調停に乗り出すよう働きかけを強めてください。一刻も早い停戦にむけた外交努力を求めます。さらに、被災者の救援がすすむよう、イスラエルとパレスチナ側双方に働きかける外交努力を政府に対し求めます。

全日本民医連・全岐阜県生協連
パレスチナでの即時停戦を求める
 西濃医療生協が加盟する、岐阜(全日本)民医連が、「イスラエルとパレスチナ・ガザ地区での武力行為の即時停止を求める」声明を發出し、全岐阜県生協連が内閣総理大臣に宛て「パレスチナでの即時停戦と人道支援に向けた積極的な働きかけを強く要請します」

この要請文を送付しました。
 私たち西濃医療生協は、民医連綱領が掲げる「人類の生命と健康を破壊する一切の戦争政策に反対し、核兵器をなくし、平和と環境を守ります」という理念、および、医療福祉生協が掲げる「健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる。」という理念に基づき、上記2つの活動に賛同しています。

伊舞木座が西濃の地で優しく平和の歌を届けて50年！

**伊舞木座50周年コンサート
 &ピース*フォーク喫茶**

日にち 1月28日(日) 13:00~16:00
 会場 大垣市北地区センター
 参加費 500円(大人のみ)
 <1部>伊舞木座コンサート
 <2部>みんなで歌おう
 飛び込み参加大歓迎
 主催 コープ・ピースクラブ ANNあん & 伊舞木座
 問合せ先 大垣おやこ劇場 0584-73-8222

マイナ保険証一本化で現行保険証の12月2日から新規発行停止を閣議決定
**「現行の健康保険証を残してください」
 請願署名に引き続きご協力を！**
 マイナンバーをめぐって、健康保険証や障がい者手帳、公金受取口座などの紐付け誤登録などトラブルが続出している問題で、政府はマイナンバー総点検の確認作業が完了し「問題なし」として12月より現行の健康保険証を廃止すると発表しました。

しかし、全国の開業医団体である全国保険医団体連合会は「総点検」後も医療機関の窓口では相変わらずトラブルが発生しているとの調査報告を発表しています。資格があるにも係わらず「無効・該当資格なし」との表示が最多で、顔認証エラーにより読み取れなかった、窓口負担割合の誤表示があったなどです。
 このような状況から「マイナ保険証」の利用率は7か月連続で低下し、11月は4・3%でした。国民の不安は払拭されていないことと表れ、保険証廃止はありえません。
 本紙折り込みの署名「現行の健康保険証を残してください」にご協力をお願いします。

無料 生活相談

多重債務(破産・再生・任意整理)、離婚・親権、遺産相続、交通事故、労働災害、医療事故、消費者被害、損害賠償など。提携弁護士がご相談をお聞きします。

日時：2月8日(木) 3月14日(木)
 場所：しずさと診療所内

○相談時間：午後2時~3時 ※1件あたり30分
 ○事前申込みが必要です。本部 0584-92-3268

健康委員会

健康チャレンジ

今年も2～3月に健康チャレンジを行います。
本紙にチャレンジカードを折り込みました。
2月からスタートです。ぜひご参加ください。

皆さんに健康習慣づくりを呼びかけています。
ご自宅で一人でもチャレンジできます。お友
だちどうし、家族みんなで参加することもでき
ます。
本紙折り込みの健康チャレンジカードに記録
して、結果報告を提出してください。
全員に記念品をプレゼントします。

赤坂支部 健康サロン

笑って、動いて、認知症予防 Part4

日にち 1月18日(木) 10:00～11:30
講 師 田邊三千代さん(認知症ケア指導管理士・
指導士、学習療法士、介護福祉士)
場 所 岐阜大学旧早野邸セミナーハウス
講師の田邊さんは、介護現場で働くほか、認知
症予防の講師など幅広く活動されています。
明るく元気な声で楽しく学び、動ける講座です。
皆さんの参加をお待ちしております。
問合先 宇津 0584-91-2379 玉井 0584-91-7422
高瀬 0584-71-4409

健康委員会

第4回スクエアステップ体験&交流会

日にち 3月13日(水) 10:00～11:30
場 所 大垣市江東地区センター(大垣市浅草)
持ち物 汗拭きタオル、飲み物
運動できる服装、靴下着用
参加費 無料 ※2月10日(土)までに
申込先 組合員活動部(松岡) 090-1989-4254

健康委員会 健康ヨガ教室

日にち 1月24日(水) 10:00～11:30
場 所 大垣市綾里地区センター(大垣市綾野)
講 師 野村美智留さん(全米ヨガアライアンス
インストラクター 視力向上ヨガ・東洋
医学経絡ヨガ公認)
定 員 30名
持ち物 ヨガマット(お持ちの方)、大判バスタ
オルカブランケット、飲み物、タオル
申込先 しずさと診療所待合室の申込箱に入れて
いただくか、または電話・FAXでお申し
込みください。
F A X 0584-93-1169
問合先 090-4860-4505(齋藤)

ウォーキングの会

日にち 1月15日(月) 雨天の場合1月22日(月)
場 所 加納城跡と中山道(岐阜市)
加納城は徳川家康が築城し、娘婿の奥
平信昌が加納城当主に。その城跡や加納
宿本陣、加納天満宮などを見学しながら
市内の中山道をウォーキングします。
集合場所・時間 しずさと診療所 8:30
持ち物 弁当、水筒、雨具、防寒具、運動靴
※会費200円+交通費400円
日にち 2月26日(月) 雨天の場合3月4日(月)
場 所 墨俣宿の『雛祭り』と『しだれ梅』
墨俣町の受光寺境内の飛龍梅(しだれ
梅)を見学。その後、商店街の各家に飾っ
てある色々な雛飾りを見て歩きます。
集合場所・時間 しずさと診療所 9:00
持ち物 弁当、水筒、雨具、防寒具、運動靴
※会費200円+交通費300円
問合先 杉野茂樹 0584-34-1817
梅村民雄 090-4232-9057

※日程は変更する場合があります。
詳細は、問合先までお尋ねください。
※山楽会は1～2月はお休みです。

大垣中央支部 新年のつどい

日にち 1月25日(木) 13:30～15:30
場 所 おしゃべりサロン花の木
(大垣市禾森町)
※ご参加の場合は連絡ください。
連絡先 松岡 0584-78-5714 090-5854-6428

グラウンドゴルフで楽しく健康づくり

実施日
1月11日(木) 17日(水) 25日(木) 29日(月)
2月6日(火) 14日(水) 20日(火) 28日(水)
3月5日(火)
※時間はそれぞれ12時半から
場 所 三城公園 ソフトボール場
問合・申込先 河村秀一 090-5450-3227